

大阪経済記者クラブ 各位

Sea & Air (シー・アンド・エア) 輸送の実証実験結果について

国際物流戦略チーム

国際物流戦略チーム（本部長：下妻関経連会長）では、荷主の多様化・高度化する物流ニーズに対応するとともに、関西国際空港・阪神港の国際物流ハブ機能の強化を図るため、海上と航空の連携によるSea & Air輸送の推進が課題となっているところであります。

こうしたことから、国際物流戦略チームでは、2008年度、関西国際空港・阪神港を中継地とした国際トランジット型Sea & Air輸送の導入可能性を検討するため、国土交通省と連携して、上海⇒(Sea)⇒阪神港⇒関西国際空港⇒(Air)⇒欧州ルートにおける実証実験を実施いたしましたところ、リードタイム、輸送品質、コスト及び行政手続等の面において、導入可能であることが確認されました。（詳細は添付のとおり）

1. リードタイム面については、船便スケジュールと航空便スケジュールの接続が整えば、上海から欧州までを最短4日程度で輸送できることが確認されました。（航空直行便では1日程度、海上輸送では4週間程度が必要。）
2. 輸送品質面については、更なる輸送品質向上の観点から改善の余地はあるものの、貨物へのダメージは特段見られないことが確認されました。
3. コスト面については、上海から欧州への航空直行便と比べて、優位となるケースがあることが判明しました。（最大で2割程度コストが低減できたケースも確認されました。）
4. 行政手続面については、基本的に仮陸揚・保税運送手続にて対応可能であることが確認されました。

今後、国際物流戦略チームとしては、今回の実験成果を活かし、関西国際空港と阪神港が連携したSea & Air輸送を新たなサービスとして確立していきたいと考えています。このため、物流事業者等による商業ベース化が本年度の早期に確立されるよう、必要な取り組みを推進してまいる予定であり、荷主のニーズに応える新たな需要喚起のみならず、中長期的に増大が確実に見込まれるアジア発の貨物需要を積極的に関西国際空港と阪神港に取り込んでまいります。

本件のお問い合わせ先：

(社)関西経済連合会 経済調査部長 藤原 Tel 06-6441-0102

以上

Sea & Air(シー・アンド・エア)輸送の実証実験結果

○ 実験概要

概要

- 国際物流サービスに対する荷主ニーズの多様化、高度化する物流に対応するとともに、我が国空港・港湾の国際物流ハブ機能を強化するため、我が国を中継地とする国際トランジット型Sea&Air輸送の導入可能性を検討した。
- 国際物流戦略チームでは、国土交通省航空局の調査と連携し、アジア(中国)発～大阪港・関西国際空港経由～欧米向けSea&Air輸送の実証実験を通じて、Sea&Air輸送の本格導入に向けた課題を検証した。(実験は3回実施)

検証内容

想定される主な課題

定時性・速達性

輸送品質

輸送コスト

行政手続等

主な検証事項

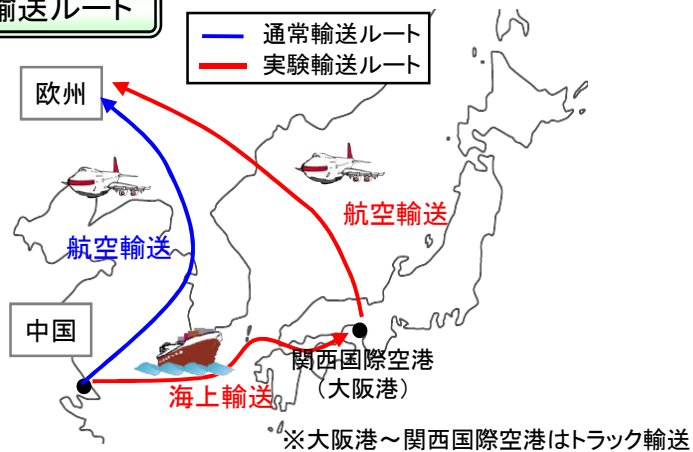
各工程の
所要時間
の実測

輸送・積替え
時に生じる
貨物へのダ
メージを確認

直行便等
を利用した際
とのコスト
比較

横持ちの際
に発生する
行政手続を
確認

輸送ルート

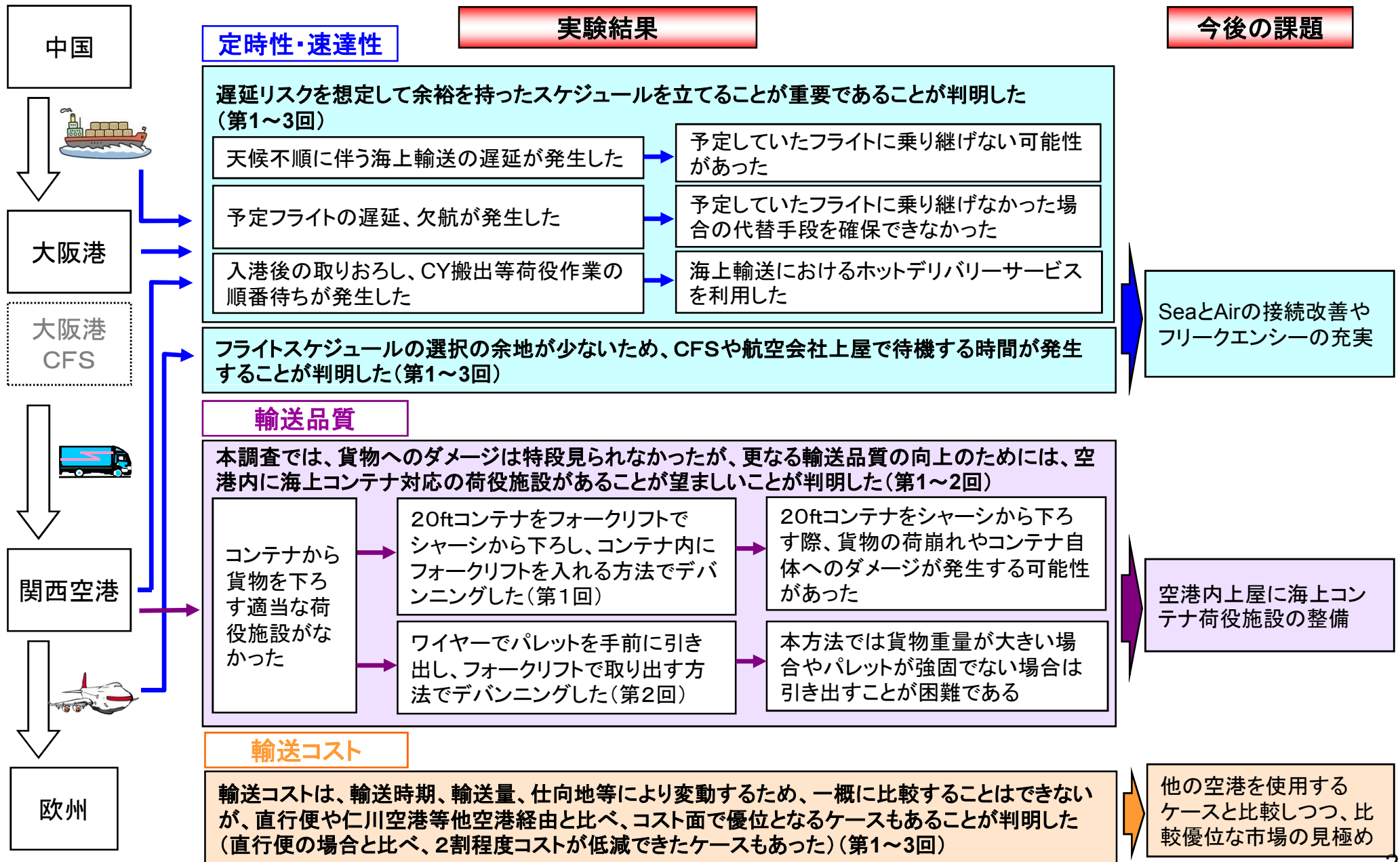


実験内容

	第1回実験	第2回実験	第3回実験
輸送スケジュール	平成20年12月3～11日 1日目 上海工場発 4日目 上海港発 6日目 大阪港着 関西国際空港着 9日目 関西国際空港発 9日目 スキポール空港着 仕向地着	平成21年1月7～17日 1日目 上海工場発 4日目 上海港発 6日目 大阪港着 8日目 関西国際空港着 9日目 関西国際空港発 9日目 スキポール空港着 仕向地着	平成21年2月18～27日 1日目 上海工場発 4日目 上海港発 7日目 大阪港着 デハンニング 関西国際空港着 9日目 関西国際空港発 9日目 フランクフルト空港着 仕向地着 (10日目 ミノ空港着 →仕向地着)
発地/着地	上海/アムステルダム	上海/アムステルダム	上海/フランクフルト及びミノ
製品 (輸送量)	電子製品(約20m ³)	電子製品(約33m ³)	電子部品(約4m ³)
貨物形態	FCL(20ftコンテナ)	FCL(40ftコンテナ)	LCL
実験の ポイント	本船到着当日のうちに 関空へ搬入(関空搬入 までのリードタイムを最 小化)	本船到着後、フライト 当日まで3日間大阪港 CYで待機	LCLで検証(一旦大阪港 CFSへ搬入した後、関空 へ搬入)

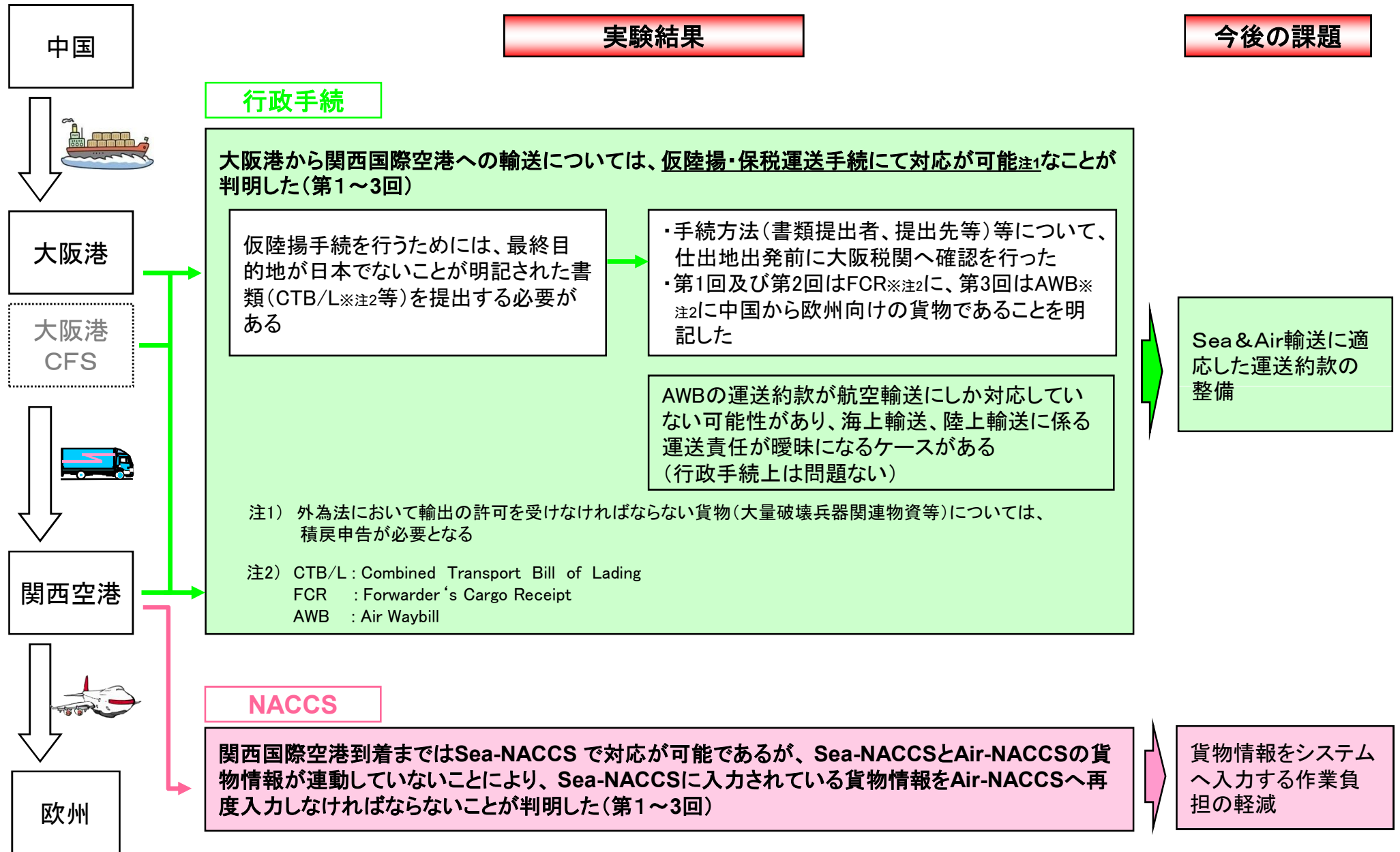
Sea & Air(シー・アンド・エア)輸送の実証実験結果

○実験結果と今後の方向性①(定時性・速達性、輸送品質、輸送コスト)



Sea & Air(シー・アンド・エア)輸送の実証実験結果

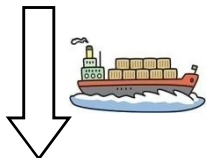
○実験結果と今後の方向性②(行政手続、NACCS)



Sea & Air(シー・アンド・エア)輸送の実証実験結果

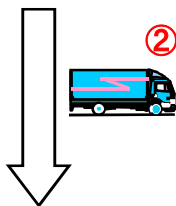
〇まとめ・実験の様子

中国

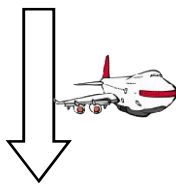


大阪港 ①

大阪港 CFS ①



関西空港 ③



欧州

まとめ

Sea & Air輸送は多数の海上・航空関係者が連携することにより、初めて競争力のあるサービスが実現する。Sea & Air輸送の本格導入にあたっては特に空港会社、航空会社、フォワーダー、行政機関等関係者が一体となってサービスメニューとしての整備や更なる機能向上を図ることが重要である。

実験の様子



①陸揚げ風景(第1回)



②横持ち輸送風景(第1回)



③デバンニング風景(第1回)

➡ 第1回・第2回実験
➡ 第3回実験



③デバンニング風景(第2回)



①大阪港CFSデバンニング風景(第3回)



③ビルドアップ風景(第1回)



③搭載風景(第1回)